

時局日誌 (六十七)

Y
H
生

三月二十七日

陸軍航空士官學校令外六勅令中改正等ノ件(勅令第二二一號)

同 (同) 松尾 敬守
海軍少佐(元中尉) 伴 勝久
海軍大尉(元少尉) 岩瀬 勝輔

計歴器最高販賣價格指定(商工省告示第二六三號)公布

海軍省公表 昭和十七年五月三十一日

同 (同) 大森 猛
同 (同) 芦邊 守
海軍兵曹長(元二等兵曹) 高田 高三

特殊潜航艇を以てデイエゴ、スワレス灣及シドニー港に突入し偉功を奏したる第二次特別攻撃隊に對し聯合艦隊司令長官より感狀を授與せられ右の旨上聞に達せられたり。

同 (同) 都竹 正雄
大本營發表 帝國陸軍航空部隊は三月二十一日チッタゴン西北九十キロ、フェンニイ飛行場を、三月二十五日チッタゴン附近の飛行場を攻撃し左の戦果を収めたり。

第二次特別攻撃隊戦死者は左の如し。

海軍中佐(元大尉) 秋枝 三郎

同 (同) 中島 兼四

一、フェンニイ飛行場に於ては地上にあ

りし飛行機三機を炎上せしめ少くも二十機を撃破せり、他に軍事施設四箇所を炎上せしむ。

二、チッタゴン附近の飛行場に於ては飛行機九機を炎上せしめ附屬設備及び燃料集積所等を撃碎せり。

三、我に損害なし

長崎控訴院長 草野豹一郎
補大阪控訴院長

宮城控訴院長 杉浦 忠雄
補長崎控訴院長

司法省民事局長 坂野 千里
補宮城控訴院長

水戸地方裁判所長 齋藤 直一

任司法省民事局長

三月二十八日

DNP通信前線報道によればオリョー

ル南部の獨軍大防禦戦において獨軍三箇師團は赤軍十一個師團の猛撃を見事に撃破し赤軍に對し次の如き損害を與へた。

戦死一萬七千七百名、俘虜一萬六千八百七十名、鹵獲武器、戰車六十九臺、

大砲および對戰車砲八十四門、迫撃砲二百四門、機關銃七十七、對戰車小銃

二百五十八、小銃および拳銃數千

三月二十九日

兵役法施行令中改正（勅令第二三八號）

日本出版會成立定款（内閣内務省告示第四號）日本出版會々長久富達夫任命（内閣内務省告示第五號）公布

大本營發表

一、帝國海軍航空部隊は三月二十八日ニ

ニ、ギニヤ島オロ灣を攻撃、上空警戒中の敵戰鬥機群と交戦、その十九機を撃墜、更に八千噸級輸送船一隻、五千噸級輸送船一隻、驅逐艦一隻、哨戒艇一隻を撃沈せり、我方の損害自爆及未歸還三機

二、帝國海軍部隊は三月二十七日熱田島西方海面を行動中の巡洋艦二隻及驅逐艦數隻よりなる敵艦隊を發見、直ちにこれを追撃、甲巡一隻が大損害を與へ乙巡一隻、驅逐艦一隻を小破せしめたる後敵を東方に潰走せしめたり、我方の損害極めて輕微なり。

三、帝國海軍航空部隊は三月十九日より同二十六日まで三回に互リカントン島を爆撃し兵舍地帯、陸上飛行場、水上基地、格納庫等の軍事施設に對し、甚大なる損害を與へ全機無事歸還せり

四、帝國海軍部隊及海軍機は三月十五日より同二十七日迄に敵潜水艦四隻を撃沈せり。

臺灣總督府食糧局長 奥田 達郎

任臺灣總督府國土局長

臺灣總督府專賣局書記官 中平 昌

任臺灣總督府食糧局長

今同政府では兵役法施行令（勅令）中一部改正を行ひ來る四月一日より施行することとなつた。今回の改正は中等學校令

の改正或ひは各種學校令の廢止、修業年限の短縮、延長に伴ふ學生、生徒の徵集延期の變更および先般の兵役法改正により昭和十九年より徵兵検査を受け得ることとなつた。

徵集を延期し得べき期間

一月二日より四月二日より一月一日迄の間に出生したる者
四月一日迄の間に出生したる者

年齢 二十二年迄 年齢 二十三年迄

改正年齢表

高等學校高等科
大學令に依る大學豫科
修業年限二年の青年學校教員養成所

師範學校
臨時教員養成所
修業年限三年の青年學校教員養成所
實業學校教員養成所
修業年限三年又は四年の專門學校
高等師範學校

修業年限五年以上の專門學校
大學令に依る大學學部(醫學部醫學科を除く)
大學令に依る大學醫學部醫學科

獨軍當局は廿一日から廿七日までの間に赤軍が飛行機二百四十三機を喪失したに對し、同期間における獨軍の損害は僅か十四機なる旨廿九日發表した。

三月三十日

政府職員共済組合令中改正(勅令第三一八號)砂糖消費稅施行規則中改正(勅令第三二八號)特別行爲稅法施行規則(勅令第三二九號)市街地信用組合法施行令(勅令第三四八號)防空法施行規則中改正(內務省令第二三三號)防空法第五條ノ五第二項ノ規定ニ依ル地區指定(東京市大阪市内務省告示第一八〇號、第一八一號)砂糖最高販賣價格指定(農林省告示第一四二號)

年齡 年齡
二十三年迄 二十四年迄
年齡 年齡
二十四年迄 二十五年迄
年齡 年齡
廿五年迄 廿六年迄

示第一四二號)公布
大本營發表 南太平洋方面帝國陸軍航空部隊の本年初頭以來三月中旬までの綜合戰果次の如し。

一、敵飛行機に與へたる損害
(イ)「ニューギニア」島方面
擊 墜 九十五機
地上擊破 三十機
(ロ)「ソロモン」群島方面
擊 墜 六十二機
地上擊破 十五機
二、我方の損害 三十機
大本營發表 帝國陸軍航空部隊は三月二十七日「チッタゴン」南方百キロ「ロ

ツクスバザー」及「モンドウ」附近の敵船舶を攻撃せり、戰果次の如し。
一、敵に與へたる損害 直撃彈及至近彈により一千噸級輸送船五隻、五百噸級六隻に大損傷を與へたるほか「ロツクスパザー」埠頭を擊碎し、遊撃し來れる飛行機六機を擊墜せり。

二、我方の損害自爆及未だ歸還せざるもの七機

内閣東北局長 宇都宮孝平
任青森縣知事 山田 俊介
任青森縣知事 青森縣知事
依願免本官
青森縣警察部長 上田 秀雄
任福島縣警察部長 任福島縣警察部長
群馬縣官房長 絹川 二郎
任青森縣警察部長 任青森縣警察部長
內務理事官 西尾 武夫
任群馬縣官房長
情報局に於ては其の機構を變更せり(前號內務省特報参照)

三月三十一日

臨時資金調整法中改正（法律第八七號）

陪審法停止ニ關スル法（法律第八八號）

格價差益及爲替差益ノ納付等ニ關スル件

（勅令第三六一號）市街地信用組合法施行規則（大藏省令第一四號）臨時租稅措置法施行規則中改正（大藏省告示第一五號）納稅施設法施行規則（大藏内務省令第一號）糊類最高販賣價格指定（商工省告示第二八二號）公布

樺太廳内務部長 增本 甲吉

補内政部長 尾崎 卓郎

樺太廳交通部長兼殖産部長 白井八洲雄

補經濟部長 熊野 周二

樺太廳警察部長 栗山 松一

補警察部長 同 利和

大阪府經濟部長 菊池 盛登

京都府警察部長 沼越 正己

神奈川縣警察部長 高橋 三郎

陸軍高等官二等 同 實雄

陸軍司政長官 重成 格

陸軍中將 井上 保雄

陸軍中將 高木 武雄

海軍中將 高木 武雄

海軍中將 井上 保雄

海軍中將 井上 保雄

任大阪府官房長

東京府土木部長 吉岡計之助

大阪府土木部長 城戸 鎮吉

陸軍高等官二等

（滿洲國警務司長）谷口 明三

任埼玉縣内政部長

大阪府官房長 柳川 久雄

任岐阜縣内政部長

保險院總務局長兼内閣紀元

二千六百年祝典事務局長

歌田 千勝

尾崎 卓郎

岡 利和

熊野 周二

同 福光 正義

同 藤澤喜久郎

同 同 益山 貞之

同 同 堤 實雄

任陸軍司政長官

海軍中將 井上 保雄

補大湊警備府司令長官

海軍中將 高木 武雄

補高雄警備府司令長官

獨軍司令部三十一日特別發表 獨潜水艦は引續き各方面の敵補給路に對し甚大な打撃を與へつゝあり、北大西洋方面および中部大西洋ならびに地中海において補給品を満載せる敵商船十七隻合計十萬三千五百トンを擊沈した。

四月一日

軌道法等二十五條ノ規定ニ依ル職權委任ニ關スル件中改正（内務鐵道省令第二號）

軌道建設規程中改正（内務鐵道省令第三號）國民貯蓄組合法施行規則中改正（大藏省令第一八號）酒稅法施行細則（大藏省令第一八號）酒類價格規則（大藏省令第一九號）工作物築造統制規則（商工省令第一七號）月掛郵便貯金規則（逓信省令第四一號）清酒及合成清酒販賣價格指定（大藏省告示第一三七號）雜酒、果實酒、白酒及濁酒ノ販賣價格指定（大藏省告示第一四〇號）ジャム最高販賣價格指

定（大藏省告示第一三七號）雜酒、果實酒、白酒及濁酒ノ販賣價格指定（大藏省告示第一四〇號）ジャム最高販賣價格指

定（大藏省告示第一三七號）雜酒、果實酒、白酒及濁酒ノ販賣價格指定（大藏省告示第一四〇號）ジャム最高販賣價格指

定（大藏省告示第一三七號）雜酒、果實酒、白酒及濁酒ノ販賣價格指定（大藏省告示第一四〇號）ジャム最高販賣價格指

定（大藏省告示第一三七號）雜酒、果實酒、白酒及濁酒ノ販賣價格指定（大藏省告示第一四〇號）ジャム最高販賣價格指

定（大藏省告示第一三七號）雜酒、果實酒、白酒及濁酒ノ販賣價格指定（大藏省告示第一四〇號）ジャム最高販賣價格指

定（大藏省告示第一三七號）雜酒、果實酒、白酒及濁酒ノ販賣價格指定（大藏省告示第一四〇號）ジャム最高販賣價格指

定（大藏省告示第一三七號）雜酒、果實酒、白酒及濁酒ノ販賣價格指定（大藏省告示第一四〇號）ジャム最高販賣價格指

定（大藏省告示第一三七號）雜酒、果實酒、白酒及濁酒ノ販賣價格指定（大藏省告示第一四〇號）ジャム最高販賣價格指

定（大藏省告示第一三七號）雜酒、果實酒、白酒及濁酒ノ販賣價格指定（大藏省告示第一四〇號）ジャム最高販賣價格指

定（大藏省告示第一三七號）雜酒、果實酒、白酒及濁酒ノ販賣價格指定（大藏省告示第一四〇號）ジャム最高販賣價格指

定（大藏省告示第一三七號）雜酒、果實酒、白酒及濁酒ノ販賣價格指定（大藏省告示第一四〇號）ジャム最高販賣價格指

定（大藏省告示第一三七號）雜酒、果實酒、白酒及濁酒ノ販賣價格指定（大藏省告示第一四〇號）ジャム最高販賣價格指

定（大藏省告示第一三七號）雜酒、果實酒、白酒及濁酒ノ販賣價格指定（大藏省告示第一四〇號）ジャム最高販賣價格指

定（大藏省告示第一三七號）雜酒、果實酒、白酒及濁酒ノ販賣價格指定（大藏省告示第一四〇號）ジャム最高販賣價格指

定(農林省告示第一四七號) 清涼飲料最

高販賣價格指定(農林省告示第一四八號)

菓子類最高販賣價格指定(農林省告示第

一五〇號) 指定生産絹織物最高販賣價格

指定昭和十七年八月告示第八五七號中改

正(商工省告示第二九六號) 石炭販賣業

者ノ最高販賣價格指定昭和十七年四月告

示第三七四號中改正(商工省告示第二九

八號) 公布

大本營發表 帝國陸軍航空部隊は引續

き東部印度における敵航空基地及び軍事

施設を攻撃中にして三月二十六日より同

三十日までの狀況左の如し

一、敵に與へたる損害 (イ) 二十六日

「モンドウ」において飛行機一機墜陸、

軍事施設五箇所炎上、「コックスバザー」

北方「マイスカール」島において一千

噸級輸送船一隻撃沈、五百噸級四隻大

破

(ロ) 二十七日「コックスバザー」及び

「モンドウ」攻撃における戦果は既に

發表せられたるが如し。

(ハ) 二十九日「モンドウ」及び「コッ

クスバザー」において飛行機六機墜陸

(ニ) 三十日「コックスバザー」東方「ラ

ム」飛行場において飛行機十二機墜

陸、一機地上撃破、軍事施設九箇所炎

上「モンドウ」南方「アレサンヨウ」

において軍事施設および軍需品集積所

爆碎

二、我方二十七日以外損害なし。

獨軍筋の言明によれば本年一月一日以

降三月末日までに獨軍は地上部隊のみで

六千四百十臺の赤軍戦車を破壊した。

四月二日

食用にしん製品最高販賣價格指定(農林

省告示第一五三號) 醫藥品(移輸入生薬)

最高販賣價格指定(商工省告示第三號)

醫藥品(内地産生薬) 最高販賣價格指定

(商工、厚生、農林省告示第一號) 公布

大本營發表 帝國陸軍航空部隊は三月

三十一日東部印度及び緬甸領内に於て次

の戦果を収めたり。

一、「コックスバザー」附近飛行場群を奇

襲し敵戦闘機十六機と交戦、その八機

を撃墜、他の八機に損傷を與へ全機無

事歸還せり。

二、緬甸「アランミヨウ」東北方に於て

敵機十二機と遭遇、その二機を撃墜せ

り我方一機未だ歸還せず。

四月三日

大本營發表 帝國海軍航空部隊は、四

月一日ソロモン群島ルツセル島方面に進

撃、敵戦闘機群を捕捉し、その四十七機

を撃墜せり、我方の損害自爆及未歸還九

機

四月五日

石油販賣業者ノ石油販賣價格指定(商工

省告示第三一三號) 公布

米國海軍省は日本航空部隊が四日ガダ

ルカナル島の米軍陣地を爆撃、これと交

戦した米空軍は六機を喪失した旨發表し

た。

蘇淮地區における皇軍各部隊の三月中の綜合戦果は左の如くである。

- △交戦回数九五△交戦敵兵力二六、一八〇△邊棄死體一、七五八△捕虜二二五、鹵獲品重機九、輕機八、擲彈筒七小銃七六七、同彈一五、三五六、拳銃一五、迫撃砲一、同彈一七八、洋砲二一五、手榴彈一、一七一△覆滅又は半壞敵施設二五その他多數。

四月六日

大本營發表 帝國陸軍航空部隊の東部印度攻撃に依る四月一日より同四日まで

- の綜合戦果次の如し。
- 一、敵に與へたる損害
- (イ) 飛行機 二十機
- 撃 墜 十八機
- 地上撃破
- (ロ) 船 舶
- 撃 沈 五百噸級 二隻
- 撃 破 一千噸級 三隻
- 五百噸級 五隻

時局日誌

(ハ) 軍事施設 爆碎 炎上 十數ヶ所

二、我方の損害

自爆又は未だ歸還せざるもの 四機

過般の江南作戦により喪失した據點を奪回せんとする敵を捕捉殲滅してゐる。

三十日までに判明せる戦果は 敵遺棄死體九百八十、敵に與へたる損害 二千五百以上、俘虜聯長以下二十、迫撃砲二門、重機二、輕機三、小銃二百三、手榴彈八百五十六。

米海軍省はソロモン海戦で戦死したサリウアン五人兄弟の名に因んだ潜水艦ローロを含めてつぎの十隻の艦艇が先週末進水した旨五日發表した。

【三日】驅逐艦バッチャー、護送驅逐艦スロット、同パーク、驅逐艦二隻、快速艇二隻【四日】空母カボット、驅逐艦ヘイル、潜水艦セーロ。

總統大本營發表

▽チヌニア戦線 一、南部チヌニアにおいて一重要高地を攻略したほか、他の戦線は何れも概して平靜であつた

一、樞軸空軍はこの日各地の敵空港を急襲、敵十八機を撃墜した。

▽西部戦線 一、英米爆撃機隊は五日アントワープを中心に獨占領地を爆撃、百八十名の兒童が學校内で惨死を遂げた、撃墜された敵機は十九機である。

四月七日

塗料販賣價格指定昭和十六年四月告示 第二八四號中改正 (商工省告示第三一八號) コルク製品販賣價格指定昭和十六年二月告示第一三四號中改正 (商工省告示第三一九號) 總針最高販賣價格指定昭和十七年十一月告示第一二九九號中改正 (商工省告示第三二〇號) 輸入ゴムバツキング最高販賣價格指定 (商工省告示第三二一號) 公布

陸軍省發表 本年初頭東部ニューギニア方面に對する作戦に協力し武功拔群な

りし岡本飛行部隊に對し、遂に南太平洋方面陸軍最高指揮官より感狀を授與せられしが今般長くも上聞に達せられたり。

支那派遣軍報道部七日發表 二月中旬に

おける支那派遣軍綜合戰果左のごとし。

(但し二月中旬より開始せる蘇淮方面および洞庭湖方面のすでに發表せる戰果を合ます)

(一)交戦回數 二、〇九三回

交戦兵力 二六七、三一九

重慶軍戰死者 一三、八八三

俘虜および歸順 八、六三一

【主要鹵獲品】野砲(砲身のみ)五、迫撃砲七、重輕機二二八、小銃七、五〇〇、

拳銃一、二一六、洋砲二、六四八、各種

彈藥二九一、〇〇〇發、その他銃、劍、

刀、通信機材等多數、わが方の損害戰死

二八五。

四月八日

大本營發表 一、帝國陸軍部隊は印緬

國境附近「アキヤブ」北方地區に占據し、

昨年十二月下旬以來英印軍二個師團の攻撃を撃破しつゝありしが、三月上旬攻勢に轉じ大包围作戰に依り「マユ」河畔敵主力を捕捉撃滅し目下殘敵掃蕩中なり。

二、緬甸方面陸軍最高指揮官は陸軍中將

河邊正三なり。

六日ビルマ方面派遣陸軍航空部隊は戰

爆連合の大編隊をもつて大舉東部印度ア

コーラ飛行場(チッタゴン北西約二百キ

ロ)を急襲、甚大な戰果を収めた、わが

方全機無事歸還した。

去る五日反樞軸空軍のアントワープ盲

爆による被害は八日午後までに判明した

ところで罹災者一萬七千名、内一萬名は

死傷乃至家を奪はれてゐる。

參謀次長田邊盛武中將は某要職につき

たる爲め交迭が行はれた。即ち

補參謀次長 陸軍中將 秦 彦三郎

補陸軍運輸部長 陸軍中將 鈴木 宗作

天皇陛下には大東亞戰爭開戦以來第一

線に赫々たる武勳を立て、歸還をした陸

軍中將酒井隆、同飯田祥二郎、海軍中將

綱壹茂子郎、同嵯島節雄、同原忠一に拜

謁おほせつけられた。

國府訪日特派大使 陳 公博

叙勳一等旭日大綬章

四月九日

長き邊りでは大東亞戰爭および支那事

變に赫々たる武勳を樹てた勇士ならびに

英靈に對して行賞の御沙汰あらせられ、

第八回大東亞戰爭死歿者行賞(陸軍第六

回)第六十五回支那事變死歿者行賞(陸

軍第四十七回)第五十四回支那事變生存

者行賞(陸軍第四十一回)として、九日

賞勳局ならびに陸軍省から發表された、

今回恩賞の光榮に浴したものは大東亞戰

争勃發以來南方戰線に、あるひは支那大

陸に活躍し、遂に護國の人柱となつた勇

士が大部分で、一部支那事變第二次期間

(昭和十五年四月二十九日より大東亞戰

争勃發まで)に支那大陸に奮戦中つひに

東亞建設の礎石となつた勇士が含まれて

る。

大本營發表 帝國海軍航空部隊は四月七日大舉ソロモン群島フロリダ島方面の敵艦船を強襲せり、戦果及び我方の損害左の如し。

撃沈	巡洋艦	一隻
撃破	驅逐艦	一隻
撃破	輸送船	十隻
撃破	輸送船	二隻
小破	輸送船	一隻
撃墜		三十七機
我方の損害		
自爆	六機	

(註)本海戦をフロリダ島沖海戦と呼稱す。

恒例の地方長官會議は十二日から十五日まで四日間開催されるが、内務省ではこれに引續き十九、二十の兩日同省で全國警察部長會議を開催する、會議の日程は次の通りである。

十九日午前八時二十分開會、湯澤内相訓示、警保局關係の指示あり、正午首相官邸における東條首相招待午餐會に臨み首相の訓示がある、引續き防衛局、情報局、厚生省關係會議に入る、二十日各警察部長より地方事情を聴取、正午法相官邸における法相招待午餐會の後松阪檢事總長の訓示、岩村法相の挨拶がある。

四月十日

大本營發表 帝國陸軍部隊は「ベンガル」灣岸「インデン」附近に包圍せる英印軍第六旅團に對し連續攻撃を加へ四月八日に至りこれを殲滅、その旅團長「ガベンディイツシュ」を俘虜とせり。

わが精銳諸部隊は敵本據田柳莊地を占領、城頭高く感激の日章旗を翻した、七日夕刻までに判明せる戦果左の如し。

敵遺棄死體二、二二五、捕虜一、二二九、鹵獲品、小銃一、四六三、迫撃砲一三、輕機一五、重機一、自動小銃一、拳銃二、擲彈筒一、手榴彈二、二七九、その他多數。

その他多數。

三月中における河南省〇〇部隊の綜合戦果左の如し。

交戦回数二三四、交戦敵兵力六〇三八
 敵遺棄屍一、〇五三、捕虜三九〇、鹵獲品小銃五九八、彈藥九、〇四五、輕機一七、手榴彈三八七、迫撃砲一、拳銃一〇
 その他多數。

樺太廳警察部長	栗山 松一
任樺太廳書記官補敷香支廳長	
島根縣警察部長	大貫 元
任樺太廳部長	補警察部長
三重縣官房長	米澤 常道
任島根縣部長	補警察部長
警視廳特高第二課長	秋山 博
任三重縣官房長	
栃木縣事務官	江花 靜
任秋田縣官房長	
四月十一日	
イタリヤ軍司令部十日公報	英二百八十機喪失す。

獨軍當局は英國空軍が三月中チユニジ
ア戦線で飛行機約二百八十七機を喪失し
た旨十一日發表した。

四月十二日

大本營發表 帝國陸軍部隊は「アキヤ
ブ」北方の作戦に呼應し、西北部印緬國
境並に雲南省境附近の敵軍に對し、二月
月上旬作戦を開始し、三月下旬その目的を
達成、さらに所在の殘敵を掃蕩中なり、
本期間における戦果左の如し。

一、敵に與へたる損害 遺棄屍體約九百
俘虜約二百、各種火炮七門、重輕機四
十二挺その他小銃、彈藥、糧秣、被服
等多數

二、わが方の戦死 八十五。

天皇陛下には、地方長官會議第一日の
十二日午前八時、松村東京府知事をはじ
め四十六府縣知事、坂北海道廳長官、吉
永警視總監、朝鮮各道、臺灣各州知事、
關東州廳、樺太廳各長官ら五十七名總理
大臣官邸に參集し東條内閣總理大臣の訓

示があり以下を宮中に召させられ、午前
午後二回にわたつてそれ／＼單獨拜謁
仰付けられたうへ、決戰態勢下における
各管下の地方事情を具さに御聴取、大東
亞戰爭完遂に邁進する統後民草のうへを
思召されて種々有難き御下問を賜ひ、ま
た正午には御慰勞の思召をもつて午餐の
御陪食を仰付けられ、一同は畏き大御心
に恐懼感激しつゝ御前を退下した。

デーユヌベール通信によれば、一九三九
年九月から本年三月末までに米英兩國が
失つた商船トン数はすでに三千四十萬ト
ンに上り、これは開戰當時米英が保有せ
る船舶トン数にほぼ等しく、一隻の平均
トン数を三千五百トンとして計算すれば
八千五百隻以上の船舶が海底に葬られた
わけである。

四月十三日

石鹼、洗劑、クレンザー、シャムプー
等最高販賣價格指定昭和十七年十月告示
第一一五七號中改正(商工省告示第三四

二號)竹行李最高販賣價格指定(商工省
告示第三四三號)公布

大本營發表 一、帝國海軍航空部隊は
四月十一日ニューギニヤ、オロ灣方面の
敵艦船及び航空機群を攻撃し輸送船三
隻、驅逐艦一隻を撃沈、戦闘機二十一機
を撃墜、小艦艇數隻に相當の損害を與へ
たり、我方の損害自爆及び未歸還六機。
二、帝國海軍航空部隊は四月十二日ポー
ト・モレスビーの敵飛行場及び船舶を攻
撃せり、戦果及び我方の損害左の如し。

戦 果

撃 沈 輸送船一隻

撃 墜 二十八機

地上撃破 大型機數機、小型機十數機

地上爆破 軍事施設數箇所

撃 碎 兵舎二十數棟

我方の損害

自 爆 五機

地方長官會議の第二日は十三日午前八
時内務省で開會され、各省關係會議に入

つた、劈頭各外相の國際情勢に關する説
示あり、ついで青木大東亞相の大東亞建
設方針、對支新政策ならびに大東亞各地
域の現狀につき説示、橋田文相の訓示の
のち學制改革その他の文教問題につき實
疑應答あり、さらに岩村法相の訓示を以
て十一時四十五分午前の部を終了、午後
は賀屋藏相の訓示、谷口大藏次官の財政
方針説明、湯澤内相の訓示、山崎内務次
官の説明、三好警保、上田防空兩局長の
説明ののち四時から平出海軍大佐の講演
を聴き、五時から大政翼賛會關係事項に
つき打合せをとげ、内相官邸における内
相招待晩餐會に臨んで第二日の日程を終
る、第三日も各省關係會議が續行される
が時間が極度にきりつめられてゐる關係
から當局の方針説明に重點が置かれてゐ
る。

四月十四日

包装用木箱最高販賣價格指定(商工省
告示第三四五號)公布

時局日誌

大本營發表 帝國陸軍部隊の「アキヤ
ブ」北方地區作戰(航空作戰も含む)に
於る四月十日迄の戰果次の如し。

一、敵に與へたる損害
イ、遺棄死體約 四千二百

俘 虜 (内英兵約二千) 五百十六

主なる鹵獲品 各種火炮百五十六
門、重輕機關銃三百七十四挺、小
銃四千十五挺、戰車及び裝甲車五
十輛、自動車七十七輛、馬匹四百
七十三頭。

ロ、船舶擊沈 一千噸級一隻、五百噸
級四隻

擊破 一千 級十四隻、五百噸級
十五隻

飛行機擊墜破 四百六十五機
軍事施設 擊碎炎上五十二箇所

二、我方の損害

戰死 四百二十二名

飛行機 四十六機

海軍省公表 昭利十七年六月七日ミツ
ドウエー海戦において損傷を被り曳航中
の敵航空母艦一隻を捕獲嚴重なる警戒網
を冒してこれを擊沈せしめたる伊號第〇

〇潜水艦に對し聯合艦隊司令長官より感
狀を授けられ右の旨上聞に達せられたり
〇〇部隊は去る八日果敢なる出擊作戰
を開始華容、墨山舖(華容東南)間に蠢
動する敵に對して徹底的打撃を與へ、十
二日正午までに判明せる戰果次の通り。

△敵遺棄死體一、一五〇 △俘虜五〇。
英國海軍省は十三日次の通り發表した。
英國潜水母艦「メッドウエイ」は一九四
二年地中海に於て沈没した。

四月十五日

天皇陛下には歸還提督海軍中將三川軍
一外三少將に謁を賜はる。

補海軍艦政本部長 海軍中將 杉山 六藏

四月十六日

戰時、事變又ハ非常災害ニ於ケル郵便

業務運行方（引受配達ノ停止又ハ制限）

ノ件（逓信省令第五八號）公布

大本營發表 帝國海軍航空部隊は、四

月十四日敵輸送船團のニューギニヤミル

ン灣來着を偵知し、大舉之に攻撃を加へ

更に他の部隊はラビ飛行場を急襲し左の

戦果を収めたり。

撃 沈

輸送船四隻

大破炎上後沈没

輸送船七隻

撃 破

小艦艇數隻

撃 墜

四十四機

地上撃破

十數機

爆破炎上

軍事施設五箇所

この間に於ける我方の損害

自爆五機

四月十七日

醬油々々最高販賣價格指定（農林省告示

第一九一號）公布

農林書記官 伊藤 佐

任陸軍司政長官

重要工場の新設等による人口の移動の

ため最近特に市制の施行が増加する傾向

にあるが、市制施行の標準を従来のまゝにして置けば今後市制の施行を要望する町村はますます増加するので、内務省でこれが對策につき考究の結果、市制施行銓議内規を改正することに決定、四月十七日地方局長より各地方長官に通牒が發せられた、従来の市制施行銓議内規は

一、市制施行の豫定地域の人口が三萬以上であること

一、市制施行の豫定地域の住民の業態その他の事項については明確なる標準を設けず、大體の見つもりによること

の二點で、この方針により明治四十四年の市制の全面改正の時以來、今日まで市制の施行が行はれてきた、しかしこれでは都市的施設の整備、都市の機能の發揮等から都市の標準が低きに失するといふので今回の市制銓議内規は

一、市制施行豫定地域の人口が五萬以上であること

一、住民の業態については都市的業態が

全戸數の六割以上を占めれば戸數も全戸數の六割以上を占めることとし、市制の改正と相俟つて眞に都市的活動をなし得るものみに市制を施行することとなつた、現在内地二百六市のうち人口五萬以下の市は九十九を數へてゐる。

ドイツ軍當局は十日國際記者團をモレンスク前戦に招致、附近におけるポランド軍將校一萬人の墓地を發掘、ゲ・ペ・ウがこれ等將校を虐殺したと發表した。

四月十八日

政府は緊急物價對策として價格報奨の新制度を決定した即ち一、緊急物價對策ニ關スル件一、緊急物價對策要綱一、價格報奨制度要綱を發表した。公布

陸軍中將下田宣力氏（仙臺市長町）は南方戦線で活躍中去年一月二十六日戦死を遂げた。

四月十九日

植物油最高販賣價格指定(農林省告示
第一九二號) 油桐實最高販賣價格指定(農
林省告示第一九五號) 公布

四月二十日

特命全權大使從三位勳一等 重光 葵

任外務大臣

國務大臣 陸軍中將 安藤紀三郎
從三位勳一等功五級

任內務大臣

內閣總理大臣兼陸軍大臣陸
軍大將正三位勳一等功二級 東條 英機

兼任文部大臣

從三位勳一等 山崎達之輔

任農林大臣

正五位勳三等 大塚 唯男

任國務大臣

從三位勳二等 天羽 英二

任情報局總裁

外務大臣兼情報局總裁 谷 正之

依願免本官並兼官

內務大臣 湯澤三千男

文部大臣 橋田 邦彦

農林大臣 井野 碩哉

時局日誌

依願免本官(各通)

四月二十一日

農林省では昭和十八年産米に對し生産
者價格一石に付き六十二圓五十錢賣渡は
四十六圓(三圓値上)と決定した。

四月二十二日

珈琲最高販賣價格指定昭和十七年三月
告示第一六七號中改正(農林省告示第二
〇〇號)公布

長き滲りでは大東亞戰爭ならびに支那
事變において赫々たる武功に輝く海軍關
係英靈および勇士に對して行賞の御沙汰
あらせられ、第九回大東亞戰爭死殘者行
賞(海軍第四回)第六十六回支那事變死
殘者行賞(海軍第三十回)第五十五回支
那事變生存者行賞(海軍第十八回)とし
て、二十二日賞勳局および海軍省から發
表された。今回恩命に浴したものは死歿
者では支那事變の空中戦闘および陸上戰
闘において偉勳を奏せるものならびに大
東亞戰爭開始以來昨年八月に至る間に

いて太平洋、印度洋、支那大陸各方面にお
いて勇戦、戦死したものの一部である。
生存者は支那事變地勤務の軍屬を主とし
一部内地勤務者も含まれてゐる、殊勳甲
として優賞せられたのは六十六名だが、
そのうち東太平洋方面作戦において壯絶
な最期をとげた山口多聞中將、加來止男
少將は別項のごとく支那事變から大東亞
戰爭の各海戦を通じて樹てた輝かしい偉
勳と多年わが海軍の戦力向上、演練に貢
献せる功により特旨を以て山口中將は大
東亞戰爭初の功一級、加來少將は功二級
各金鷲勳章を賜はつた。

西村 琢磨
九州帝國大學教授 板垣 政彦

任陸軍司政長官

任內務次官

唐澤 俊樹
富山縣知事 町村 金五

任內務省警保局長

任警視總監 鹿兒島縣知事 薄田 美朝

任情報局長 群馬縣知事 村田 五郎

依願免本官 情報局長 奥村喜和男

同 内務次官 山崎 巖

同 警保局長 三好 重夫

同 警視總監 吉永 時次

後藤 文夫

大政翼賛會副總裁を委嘱す

大日本翼賛壯年團長を命ず

江北方面のわが精銳部隊の現在までに

判明せる戦果は十六日以来歸順を見つゝ

ある李明揚軍第一縱隊長以下の大集團の

ほか敵側戦死九五七、捕虜營長團長以下

一六二八、歸順八〇〇、迫撃砲一三九、

一八、手榴彈一六〇〇

四月二十三日

醫藥品販賣價格指定昭和十六年二月告

示第二號中改正(商工厚生省告示第五號)

公布

正三位勳二等子爵 岡部 長景

任文部大臣

内閣總理大臣兼陸

軍大臣文部大臣

東條 英機

免兼文部大臣

内務省監査官 柴山 博

任鹿兒島縣知事

東京府内政部長 篠山 千之

任群馬縣知事

大阪府警察部長 坂 信彌

任富山縣知事

京都府警察部長 沼越 正巳

大阪府警察部長

四月二十四日

天皇、皇后兩陛下には、大東亞戦争下

三たび迎へた靖國神社臨時大祭第二日の

二十四日、長くも同神社に行幸啓あらせ

られ、輿距の礎石として神領まれる新合

祀の祭神一萬九千九百八十七柱をはじめ

盡忠護國の英魂の前に親しく御拜あらせ

られた。

長き過りでは大東亞戦争および支那事

變に赫々たる武功を樹てた勇士ならびに

英靈に對して、行賞の御沙汰あらせられ、

靖國神社臨時大祭第二日の感銘一入深き

二十四日、第十回大東亞戦争死没者行賞

(陸軍第七回)第六十七回支那事變死没

者行賞(陸軍第四十八回)第五十六回支

那事變生存者行賞(陸軍第四十二回)と

して、賞勳局ならびに陸軍省から發表さ

れた、今回恩賞に浴したものは大東亞戦争

勃發以來南方戦線あるひは大陸に勇戦し

つひに護國の英靈となつたものが大部分

で、一部支那事變第二次期間中支那大陸

において名譽の戦死をとげ、または不幸

疫癘に斃れた勇士が含まれてゐる、その

うち金鷄勳章を授賜されたものは櫻井肇

大佐以下二千三百七十二名、武功拔群の

殊勳甲は山下晴夫大尉以下四十八名で、

バレンバン急襲の落下傘部隊勇士が殊勳

の名を連ねてゐるのはとくに感激深いも

のがある、生存者で行賞せられたのは支

那大陸および滿洲でよく皇軍に協力挺身

した陸軍部外者で、そのうち藤中辨輔氏

以下百八十四名が叙勳の光榮に浴してゐ

る。

太行山脈の敵第二十四集團軍八萬二千を撃滅すべく黄河沿岸地區部隊は臨淇西北方八キロ李家砦で敵の大部隊と遭遇、約二時間にわたり白兵戦を展開、新五軍四十軍、二十七軍、共産軍等約一千名を捕虜とし遺棄死體二百、迫撃砲一、重機二、自動小銃二、小銃、拳銃多數を鹵獲する大戦果を挙げた。

かくて黄河沿岸地區部隊の綜合戦果は捕虜三千百二十九、遺棄死體六百四十五、鹵獲小銃三百六、同彈藥二萬二千四百五十九、拳銃十七、同彈三百、自動小銃五十三、同彈六百、重機二、迫撃砲二、手榴彈四百九十一その他多數に上つた。

將系第二十四集團軍第二十四師長午瑞亭は廿四日臨淇西方八キロの李家砦において我が部隊に投降した、又孫殿英麾下の第三師長王遂慶、第四師長王月瑛もまた臨淇西北方山地で何れも我が軍に捕虜となつた模様である。

獨軍當局發表によれば今年初めから三

月末に至る間に米英空軍が獨本土および西部占領地域で失つた爆撃機の數は四百九十一に上つてをり、その後四月二十日までに獨高射砲部隊により撃墜されたものは三百四十八機で、彼らは歐洲のみで合計七百三十九機の爆撃機を今年になつて失つてゐる。

わが北進〇〇部隊は俄々たる天險を克服しつゝ進撃し、迫撃また迫撃、二十四日には敵軍長孫殿英を投降せしめるとともに、捕虜二千餘の赫々たる戦果を挙げた。

米國陸軍省は米國の北阿侵攻作戦開始から四月初旬のエル・ゲッタール戦に至るまでの期間における米軍の損害を二十三日發表した、その内譯は次の通り。

戦死一千五百、行方不明並に負傷一萬五百、計一萬二千。

四月二十五日

ワシントン來電によれば戦時情報局は開戦以來現在に至る期間に戦死行方不明

および捕虜となつた米陸海空軍の將兵は合計七萬八千二百三十四名に達した旨二十三日發表したと傳へられる。

總統大本營廿五日發表

一、チヌニアジア線戦の南部地區の反樞軸軍は屢次にわたり樞軸軍陣地の突破を企てたがこの企圖は全部失敗に歸し敵は大損害を蒙つて敗退した。

一、反樞軸軍は西部地區で優勢な部隊をもつて攻撃を加へ來つたが樞軸軍はこれを邀撃して熾烈な戦鬪を展開、彼我の間に相當の損害を生じた、この戦鬪において樞軸軍は敵戦車八十一臺を撃破した。

獨軍司令部は二十五日特別公報をもつてフォン・ビュロー少佐指揮下の獨潜水艦が護送船團護衛に従事してゐた米航空母艦レインジャー號（一四、五〇〇トン）を北大西洋の真中において撃沈した旨發表、ヒットラー總統はビュロー少佐の拔群の功を賞して特に同少佐に鐵十

宇柏葉騎士章を授與したことを併せて發表した、レインジャー號は一九三三平二月竣工、艦載機七十二機、乗組員一千七百八十八名である。

四月二十六日

黄河沿岸地區部隊は太行山脈における蔣系第二十四集團軍の撃滅戦に協力して赫々たる戦果を擧げてゐるが、二十六日朝までの総合戦果は左の通りである。

捕虜三、二〇〇、遺棄死體一、〇〇〇、鹵獲品小銃一、〇〇〇、小銃彈藥二三、〇〇〇、拳銃一七〇、輕機三五、重機二、迫撃砲三、手榴彈一、一〇〇、無電機械六、電話機三、軍服類二、一〇〇、馬匹二二〇

四月二十七日

酒類業團體法施行細則(大藏省令第三〇號)公布

内務省及地方廳部長級の異動あり監査官川井章知勅任官となり赤羽穰内務省大臣官房文書課長となりたる外警視廳地方

廳を通じ二十三名の交渉があつた。

現地軍公表 現地軍は既報の如く隣接軍と協同して去る二十三日敵第二十四集團軍主力を山西省外臨洪周邊地區に捕捉包圍し、二十四日に至りこれに潰滅的大打撃を與へ尙ほ敵根據施設を覆滅し該作戦の効果を徹底的ならしめつゝあり、二十六日夕までに判明せる主要戦果は敵遺棄死體約三千、捕虜約七千、ほかに鹵獲品多數に達せり。

四月二十八日

大本營發表 一、帝國海軍航空部隊は四月二十三日エリス諸島フナフチ島を攻撃し敵軍事施設に多大の損害を與へたる後全機無事歸還せり。

二、帝國海軍航空部隊は四月二十五日ソ

ロモン群島ガツカイ島上空の空戦に於て敵戦闘機六機を撃墜せり、我方損害なし

從三位勳一等 平生飢三郎
任樞密顧問官

從三位勳一等 谷 正之

任特命全權大使

中華民國駐劄被仰付

廣島縣土木部長 大島六七男
任陸軍司政長官

厚生事務官兼内務事務官 寺本 廣作
免本官專任内務事務官警保局勤務

國務大臣 鈴木 貞一
行政查察使被仰付

情報局發表 本日鈴木國務大臣を行政查察使に勅命せられ、行政查察を行はしめられることとなつた、第一回の行政查

察は五月十日頃から數日間交互に、神奈川縣廳、横濱海務局などの官廳および横濱、川崎兩市街の重要工場を中心として實施せられる豫定である。

四月二十九日

長き邊では決戦時下の天長の佳辰左の七氏に文化勳章を授賜せられた。

東京帝國大學名譽教授 正三位勳二等 工學博士 伊東 忠太 七七歳

東京帝國大學名譽教授 正三位勳二等

農學博士 鈴木梅太郎 七〇歲

東京帝國大學名譽教授 三位勳二等

藥學博士 朝比奈泰彦 六三

京都帝國大學教授兼東京帝國大學教授

正六位理學博士 湯川 秀樹 三七

正五位勳二等 德富猪一郎 八一

文學博士 三宅雄二郎 八四

東京美術學校名譽教授 三位勳三等

和田 英作 七〇

海軍中將 近藤 信竹

任海軍大將

我陸軍航空部隊は二十八日戰爆連合の大編隊をもつて、昆明西飛行場を奇襲攻撃大型九機、小型十機を爆破した、わが爆撃直後より逐次追尾し來る敵戰鬥機P40型十數機と交戦、うち三機を撃墜したわが方自爆一機、未歸還一機の貴い犠牲があつた。

陽山南方地區において二十五日以來敢行されてゐた蔣系第九十二軍殲滅作戦はわが精銳討伐隊の奮迅の活躍により六千

餘の敵大軍を完膚なきまでに撃滅した、二十五日戰闘開始以來の綜合戰果左の如し。

△交戦敵兵力李仙州麾下廿一師及び五十六師主力六千五百△敵遺棄死體一、五六五△捕虜三六五△鹵獲品迫撃砲三、同彈藥三五〇、重機七、同彈藥六、三五〇輕機三九、同彈藥一五、その他多數

英國空軍省は英空軍部隊が二十八日夜獨北部を爆撃したかその際大型爆撃機二十三機を失つた旨二十九日發表した。

獨軍當局は四月十八日から廿四日までの一週間に赤軍機三百四十七機を撃墜、これに對し獨空軍側の損害は十八機である旨廿八日發表した。

四月三十日

鹽業組合會施行規則（大藏省令第三三號）鹽專賣法施行細則中改正（大藏省令第三四號）産米穀買入價格指定（農林省告示第二一一號）硝子製國旗玉及硝子製佛器最高販賣價格（商工省告示第三八五

號）公布

湯澤三千男

貴族院令第一條第四號ニヨリ貴族院議員ニ任ス

昭和十八年度の國家計畫の根幹を爲す物資動員計畫並に交通動員計畫は左の三點に要約されることに内閣に於て決定した。

第一 戰爭經濟の機動性に着目して情勢即應の臨機の措置を講ずること

第二 國家總力を鐵鋼、石炭、輕金屬、

船舶、航空機等超重點物資の畫期的増産に集約すること

第三 戰時國民生活の確保に萬全の調整措置を實施すること

總統大本營三十日正午發表 二十九日

赤軍はクバン地區でまたも強力な部隊を以て攻撃を開始した。

また獨空軍は南部戰線における空中戰で敵飛行機六十七機を撃墜した。

五月一日

辦炭配給統制規則(農林省令第二四號)

放送受信用眞空管最高販賣價格指定(商

工省告示第三九〇號)公布

大本營發表 帝國陸軍航空部隊は四月二

十六日及び二十八日雲南驛飛行場に集結

中なりし米空軍を奇襲し次の戦果を収め

たり。

一、擊墜五機 二、地上擊破及び炎上四

十一機 三、軍事施設の爆砕及び炎上二

箇所

我方の損害 自爆及び未だ歸還せざるも

の各一機なり

大本營發表 帝國陸軍部隊は山西河南省

境に蟠踞せる蔣系第二十四集團軍約八萬

及び山西察哈爾河北省境に蠢動中の共產

軍約一萬五千に對し四月中旬より作戦を

開始し隨所に敵を擊碎しつつあり、四月

二十八日まで判明せる綜合戦果次の如

し。

一、敵に與へたる損害 遺棄死體約五千

俘虜新編第五軍長孫殿英以下約七千六百

主なる鹵獲品、各種火炮十九門、重輕機

關銃約二百挺、小銃約四千挺

二、我方の損害 戦死九十六名

大本營發表 帝國海軍潜水艦は四月下旬

南西太平洋方面に於て敵輸送船二隻(一

萬二千噸級一隻、六千噸級一隻)を擊沈

せり。

衣川 毅夫

安達 克巳

任陸軍司政長官

退職列事 武藤 富男

任情報局情報官命情報局第一部長 村田 五郎

免情報局第一部長事務取扱 情報局情報官 八木 正男

任情報局總裁秘書官兼任情報局情報官命 情報局官房秘書課勤務

任陸軍大將 陸軍中將 阿南 惟幾

任陸軍大將 同 今村 均

陸軍大將 土肥原賢二

補東部軍司令官兼軍事參議官

陸軍中將 安田 武雄

補陸軍航空總監兼陸軍航空本部長 陸軍中將 寺本 熊市

補航空軍司令官 陸軍中將 遠藤 三郎

補陸軍航空本部總務部總務部長 陸軍中將 菅原 道大

補陸軍航空士官學校長

五月三日

珙瑯鐵器最高販賣價格指定(商工省告示

(第三九一號)公布

任地方技師 內務技師 長濱 時雄

補廣島縣土木部長 任內務大臣秘書官 森 直次

任內務大臣秘書官 森本 潔

任厚生事務官 任情報局情報官(出版課) 澁谷 本衛

任情報局情報官 軍事保護院書記官 楡垣 一美

任京都市官房長

政府は去る四月三十日の閣議において

本年度物資動員計畫を決定したが、右計

畫に基きさらに三日の繰上げ閣議に(一)昭和十八年度生産擴充計畫(二)同年度電力動員計畫(三)同年度國民動員實施計畫の三國家計畫案を決定した、生産擴充計畫は昨年度の第二次生産擴充計畫に基く本年度計畫であり、同計畫電力動員計畫ならびに國民動員計畫に基き政府は決戰

連續の現段階に即應し、作戰と渾然一體物的人的戦力の萬全を期し就中鐵、石炭、輕金屬、船舶、飛行機の五超重點産業の飛躍的増強に遺憾なからしむることとしたものである、なほ本年度八國家計畫中資金、貿易、生活必需品三動員計畫も近く閣議決定されるはずである。

大本營發表 一、帝國海軍潜水艦は四月下旬さらに南西太平洋方面に於て油槽船(一萬二千噸級)一隻を撃沈したる外五月に入り左の戦果を収めたり

運送船(一萬二千噸級)一隻 貨物

船(八千噸級)一隻

二、帝國海軍航空部隊は五月二日ボー

時局日誌

ト・ダーウインを攻撃し敵軍事施設地區に甚大なる損害を與へたる外敵戦闘機二十一機を撃墜せり我方損害なし

南西太平洋方面で四月二十四日六千トン級輸送船一隻、四月三十日に一萬二千トン級輸送船一隻を海底に居つた帝國潜水艦の戦果はさらに擴大し今回の發表によれば南西太平洋方面における敵海上補給線において四月二十六日には一萬二千トン級油槽船一隻をまた五月一日には一萬二千トン級運送船一隻、同二日には八千トン級貨物船一隻を相ついで撃沈するの戦果が擧げられた。これら敵船舶はいづれも武器、彈藥、糧食を満載するものであり、敵の南西太平洋方面に對する補給は實に四月二十四日から五月二日にわたる九日間に五隻、五萬トンの船舶と約七萬五千トンの積載貨物を短期間に海底の藻屑と化せしめられ、甚大な打撃を蒙つたわけで特に一萬二千トンの油槽船の喪失は一萬八千トンの航空燃料を空

しく海中に流出せしめた。

總統大本營發表 四月中を通じ赤軍は飛行機千八十二機を喪失した。

獨海軍は四月中における獨海軍の反樞軸通商破壞戰の綜合戦果を三日つぎの通り發表した。

獨海軍は四月中に反樞軸商船六十三隻四十二萬三千トンを撃沈した、うち六十一隻四十一萬五千トンは獨潜水艦によるこのほか十八隻に魚雷攻撃を加へ損傷を與へた、また獨潜水艦の反樞軸軍艦攻撃も多大の戦果ををさめ空母一隻、巡洋艦一隻、驅逐艦三隻、潜水艦一隻を撃沈した。また他の獨海軍部隊は驅逐艦二隻、潜水艦三隻、水雷艇七隻を撃沈した、さらに獨海軍により損傷を蒙つた反樞軸艦艇は驅逐艦一隻、驅潜艇一隻、水雷艇十一隻、掃海艇一隻である。

五月四日

蔣系第二十七軍の敗走部隊が頑強に抵抗を續けた奪火鎮攻略戰における三日ま

での綜合戦果は次の通り

△敵遺棄死體五三一 △捕虜六九四△鹵獲
品迫撃砲一、重機三、輕機二五、小銃三
七九、同彈丸二二、四六〇、自動小銃一
五、拳銃二四、擲彈筒一八その他手榴彈
火藥など多數。

五月五日

華北の屋根と稱せられる山西、河北、
河南省境の山岳地帯に展開された十八春
大行作戦は、去月二十日開戦以來臨淇盆
地に最後の包圍殲滅戦を展開するまで僅
か半月で敵屍捕虜一萬五千と新編第五軍
長孫殿英以下の集團投降といふ輝く戦果
をさめて終結した。また天險を踏み越
え敗走する敵を隨所に殲滅し、二十六日
夕刻までに敵遺棄死體三〇〇〇、捕虜七
〇〇〇の輝く戦果をあげた。

獨總統大本營は五日正午特別公報をも
つて次の如く發表した。

ドイツ潜水艦隊は北部大西洋で反樞軸護
送船團を襲撃十六隻十萬二千トンを撃沈

した。

五月六日

錢位未滿國庫金取扱規程（大藏省令第三
八號）公布

比島來訪の東條首相兼陸相は六日マニ
ラルネタ廣場において開催された比島民
衆感謝大會において三十萬會衆に對し大
要左のごとく講演を行ひ（一）あくまで米
英を撃滅東亞防衛を企うせんとの確信を
表明また獨伊など盟邦と協力來るべき雄
渾なる大攻勢を準備中なる旨宣言（二）全
比島建設の聖業を着々進められつゝある
島民の努力を讃へて比島獨立の聲明の確
信をいよゝ固くしたと比島に對する帝
國の諭らざる援助を強調したが、首相が
特に比島獨立問題に觸れその聲明の確固
不動たることを三度中外に聲明したこと
は一千八百萬比島民衆に多大の感銘を與
へた。

五月七日

大本營發表 一、山西、河南省境附近に

作戰中の我軍は引續き蔣系第二十四集團
軍の殘敵を掃蕩するとともに五月六日よ
り、さらに共產第十八集團軍司令部及び
同じく劉伯承集團軍約一萬三千に對し包
圍攻撃を開始せり

二、山西、察哈爾、河北三省省境附近に
作戰中の我軍は引續き該地共產軍の掃蕩
を實施中なり

三、四月二十九日以降五月三日までに判
明せる兩地域の綜合戦果次の如し

一、敵に與へたる損害 遺棄死體約二千
三百、俘虜約二千五百 主なる鹵獲品各
種火砲十一門、重輕機關銃約百五十挺、
小銃約三千挺

二、我方の損害戦死百六十九名
海軍省公表 昭和十七年五月四日敵の有

力なる機動部隊の珊瑚海に出現するや之
の捕捉につとめ五月八日早朝に至り大型
空母、戦艦等を基幹とする敵艦隊を發見
直ちに之を猛攻撃破し來襲せる敵飛行機
隊をも遮撃して大部を撃墜したる〇〇部

隊機動部隊に對し聯合艦隊司令長官より感狀を授與せられ右の旨 上聞に達せられたり

蒙疆中部地區兵產軍擊滅作戦四月中の綜合戦果左の通り

交戦回数三六、交戦敵兵力二、六三七、

敵遺棄死體二三五、捕虜六一、軍馬二四

△鹵獲品小銃六六、彈藥一、〇四四、拳

銃六、手榴彈八三、その他多數

西南太平洋反樞軸軍司令部は反樞軸中型

商船五隻が濠洲東岸水域で撃沈され、

うち二隻は濠洲船であつた旨六日發表し

た東部戦線では六日オリョール附近の上

空で獨ソ兩空軍の間に大空中戦が行はれ

た。この日午後一時ソ聯空軍のL・S・

A・G・G三型戦闘機に襲撃されたI・

二型装甲追撃機約百機の大編隊が突如雲

間を縫つて獨軍のオリョール飛行場に爆

撃を試みんとしたのを逸早く發見した獨

空軍戦闘機部隊は直に舞ひ上り、敵が目

的地上空に達する前にこれを邀撃して猛

烈な空中戦が展開された。獨軍部の中間發表で確實に判明せるソ聯機の撃墜されたもの合計六十九機(うち三十六機は装甲追撃機)に達し來襲せる敵機の半

數以上は獨戦闘機高射砲のために地上に叩き落されたと、獨側の損害は不明である。

大東亞大臣青木一男氏は本年四月十六日中華民國及南方諸地域を視察の爲め隨員を従つて東京を出發せられて約一ヶ月にわたり五月十五日歸京せられた。間接に諸要人より種々の問題に關し聽問せられたるは、勿論現地民の生活に直接觸れて中國との提携、南方建設及經濟發展等の根本政策につき得られたる所甚だ多大であらう、吾人は其の把握せられ抱負を我政策の上に具現せられんことの一日も速かならんことを望まざるを得ない。

(洗)